



## すべての近隣センターにエレベーターを設置済み5カ所、新年度2カ所で設計

市内には23の近隣センターがありますが、エレベーター設置済みは現在工事中の増尾を含め5カ所だけです。新年度、設計予算が組まれているのが光ケ丘と藤心近隣センターです。日本共産党市議団はこの間「大規模改修のときまで先送りするのではなく、外付けでエレベーター設置を」と求めてきました。柏市も設置可能性調査を行い、修繕工事と合わせて設置する方向を示しています。すべての近隣センターのバリアフリーを求めていきます。

災害時に避難所としても利用される近隣センター体育館の空調設備（冷暖房）は、新年度に設計を行い、2027年、28年で工事が実施される予定です。



エレベーターが設置される光ケ丘近隣センター(左)と藤心近隣センター

## 補聴器購入費助成に高まる期待 請願採択受け早期実現を

12月市議会で「高齢者の補聴器購入費助成を求める」請願が採択されたことで、新年度から実現するのではないかと多くの市民が期待していましたが、実現しませんでした。

「難聴者が元気になる会」では4月3日、助成制度の早期実現を求めて、市の高齢者支援課と懇談しました。担当職員からは「請願が採択されたことは、真正面から受け止めている。予算化をするにしても、補助する方の人数や、対象をどうするのか市民に納得いただくことが必要だと考えている」との発言がありました。

参加者は「年度途中からでも予算をつけて」と強く求めました。また、「難聴は、本人も周りも気づきにくい障害だ。相談窓口を設置し聴覚検査なども行ってほしい」などの要望が出されました。



「難聴者が元気になる会」と市担当課の懇談

## シルバーチケット実証実験 7月ごろから市役所ルートでも

南部地域のワニバスで行われているシルバーチケットの実証実験を、7月ごろからワニバス市役所ルートにも拡大します。1回100円で乗れるシルバーチケットは、75歳以上で運転免許証のない方が対象です。事前に申請しシルバーチケットの交付を受ける必要があります。お問い合わせは、交通政策課：04-7167-1219へ。

日本共産党は、75歳以上という対象年齢の引き下げ、運転免許証を持っている人も対象とすること、市役所ルートの休日運行を求めています。



## 即時停戦、外交による解決を

### 2会派が「イラン決議」に反対

米国とイスラエルによるイランへの先制攻撃は収束の見通しが立たず、日本国内にも様々な影響を及ぼしています。日本共産党市議団は「即時停戦と外交による平和的解決とを求める決議」を議会に提案しました。自民系会派の柏清風と共創かしわの賛同を得られず、決議をあげることができませんでした。

## 柏市予算、過去最大でも 国保料などまた値上げ

柏市の一般会計予算は、過去最大の1912億2400万円です。しかし、物価高に苦しむ市民に寄り添った予算とは言えません。

国保料は3年連続で値上げされ、後期高齢者医療保険料も今回値上げです。市民の負担はさらに重くなります。また、人体に有害な有機フッ素化合物（PFAS）汚染に苦しむ海上自衛隊下総基地周辺の住民への浄水器等設置補助金を10分の1以下に減額しています。

日本共産党は市民の暮らしを支える対策の強化を求め、一般会計、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療特別会計に反対しました。

## 国保料3年連続値上げ 子育て支援金を上乗せ

国民健康保険料が今年も値上げされ、3年間で2万3千円もの負担増です。今年度からは「子ども子育て支援金」が保険料に上乗せされます。子育て支援は大事ですが、なぜ医療保険料に上乗せしなければならないのでしょうか。財源は国が責任をもって確保すべきです。

県の基準に合わせるために、柏市はこれからの4年間も毎年7千円ずつ値上げを予定しています。7千円のうち「子ども子育て支援金」が5千円以上になります。柏市は国いいなりではなく、国に対して、子育て支援分の上乗せをやめ、国庫負担を増やすよう求めて、国保料の値上げを中止すべきです。



# 小学校の給食無償化実現!

## 中学校は半額補助

4月から小学校の給食費が無料になりました。柏市は中学校の給食費も半額を補助し、保護者負担を減らしました。長年の給食無償化を求める市民運動と日本共産党などの議会での取り組みが実ったもので、大きな前進です。

日本共産党は、「義務教育は無償」という憲法の規定に基づき、小学校、中学校給食の無償化、そして今回「対象外」とされた私立の小中学校に通学する子どもたちも含めた完全無償化を求めています。



# PFAS汚染が疑われる土地で

## 「安全な給食」は実現できるのか?

老朽化した学校給食センター（風早南部小除く沼南地域小中学校に給食提供）の建設用地として、海上自衛隊下総航空基地正門前の旧自衛隊官舎跡地を取得し、建設する計画が出されました。

この場所は、柏市のPFAS(人体への有害性が指摘されている有機フッ素化合物の総称)調査の結果、環境省が指針値(4月1日から)とする1リットル当たり50ナノグラムの30倍、1500ナノグラムの井戸が存在する範囲にあり、PFASに汚染された地下水が流れていると推定できます。

また、これらの汚染の原因として、2010年に禁止されるまで下総基地で訓練や実際の火災で使用した泡消火剤に含まれていたPFASが原因との指摘があり、周辺の土壌が汚染されている疑いが濃厚です。

日本共産党は、この土地の土壌調査、調査井戸を作り継続的な調査等を求めましたが、市は、PFAS土壌調査分析の方法が確立していないなどとして、調査をしようとしていません。環境省は、土壌中のPFASの暫定測定方法を示し、自治体からの情報提供を呼びかけています。これに応えようともしない柏市の対応は極めて問題です。



学校給食センターの建設用地として柏市が取得する旧自衛隊官舎跡地

# 学力向上・不登校対策・特別支援教育の充実

## 大規模小中一貫校は見直しを

### 教職員915人アンケート

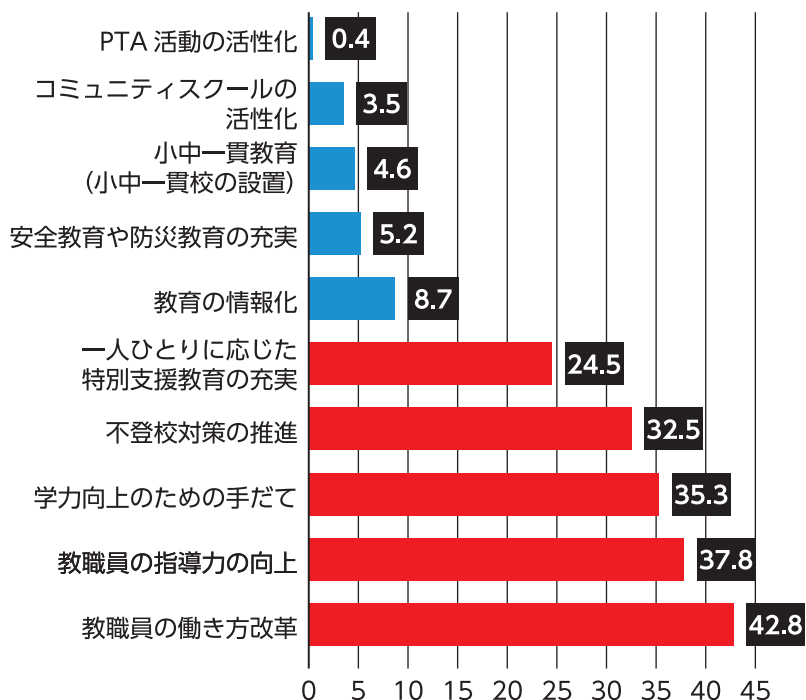
## 学校現場にはもっと大事なことがある!

市は柏中、柏1小、旭東小を統廃合し、超大規模義務教育学校をつくらうとしていますが、教育委員会が行ったアンケートでは、ほとんどの教職員が、子どもたちのためには「もっと大事なことがある」として、「小中一貫校の設置」は、4.6%しか選んでいません。

アンケートには915人の教職員が回答。「今後柏市の学校教育で重点に置いて取り組む必要がある」こととして選んだのは、学力向上のための手だて(35.3%)、不登校対策の推進(32.5%)、一人ひとりに応じた特別支援教育の充実(24.5%)で、そのためにも教職員の指導力の向上(37.8%)と教職員の働き方改革(42.8%)が大事だと考えていることが分かります。いま柏の教育に何が必要か、市教委は真剣に検討し直すべきです。

3月市議会には、「柏中学校区義務教育学校設置計画について、市主催の市民へ向けた説明会開催を要望します」との請願が出されました。日本共産党は「6・3制の教育を9年制に変える大改革なので、全市民に説明すべき」と主張しましたが、柏清風、公明党、共創かしわなどの反対で、採択されませんでした。

今後、柏市の学校教育で特に重点に置いて取り組む必要があるものは、どれですか(〇は3つまで)



# PFAS汚染対策の強化を4項目の請願すべて採択!

海上自衛隊下総航空基地周辺の河川、地下水から高濃度のPFASが検出され、住民への健康不安が高まっている問題に対し、周辺住民などから、「有害性が指摘されている有機フッ素化合物(PFAS)汚染から柏市民の命、健康を守るために対策を求める請願」が出され採択されました。

請願内容は次の4項目です。①下総基地から河川に流出するPFASを確実に防止する対策へのはたらきかけと市独自の確認②地下水汚染の原因究明③上水道敷設の費用支援と敷設までの間、浄水器設置補助等、住民の健康を守る確実な取り組み④PFASが高濃度に検出された井戸使用住民のうち、希望者にPFAS血中濃度検査費用助成。

# 老人福祉センター

## お風呂の有料化困る!

これまで、完全無料だった老人福祉センターの利用が一部有料化されます。60歳未満の方や市外の方の利用を認め、利用料を徴収します。また、これまで無料だった60歳以上の方についても、南部・沼南老人福祉センターの入浴料は100円、白寿荘は200円となります。実施は白寿荘のリニューアルに合わせた2027年4月1日です。

「毎日ワニバースのシルバーチケットを使って、お風呂に入りに来ている」「一日に3回お風呂に入る人もいる」「値上げは辛いけどこの物価高だから仕方ないかな」「60歳未満の人や市外の人が多くなって利用しにくくなったら困る」など、いろいろなご意見を伺いました。日本共産党は、「老人福祉センター」の有料化は老人福祉法の理念に反することを指摘し反対しました。

